



日本共産党高島市会議員団  
森脇 徹 議員

代表質問

コロナ禍で、守りの感染対処から攻めの予防感染保健行政へ

濃厚接触者等に限定のPCR検査から

無症状者含む予防検査に。

10月を目途に市民病院で独自のPCR検査を実施する予定です。

で、適切に対応していきたいと考えています。

問 濃厚接触者等に限定のPCR検査では「守りの対処だ」として、感染源等での無症状者含む集団・集中検査に転換されつつある。この方向で、市内医療機関での検査能力をどこまで確保できるのか。

答 病院事業管理者

これまでの市内のPCR検査件数は210件、抗原検査は151件です。今後は10月を目処に市民病院で独自のPCR検査を実施します。また地域医療連携推進法人滋賀高島の参画各医療機関での抗原検査の充実を図り、幅広く検査する体制を整え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めます。

問 コロナ感染が収まらない中、季節型インフルエンザ予防接種などの対象年齢拡大と負担軽減を含めた対応策が求められるが、如何か。

答 市長

季節性インフルエンザワクチンの需要が高まることが予想され、国や県の動向を見極めた上

**発熱外来の受診について**

当院では、新型コロナウイルスの対応やインフルエンザの流行に備え、「発熱外来」を設置しております。発熱、咳、倦怠感などの症状がある方は、院内感染防止の観点から屋外の専用診察スペースにて診察することとしています。

**対象者**  
発熱や咳、くしゃみなどの風邪症状がある方  
味覚・嗅覚異常、下痢などがある方

**開設期間**  
平日  
成人：9時30分～10時30分、14時～15時  
小児：9時～12時

**予約電話番号**  
0740-36-8077  
成人：9時～14時  
小児：8時30分～11時  
発熱外来を受診する際はお伝えください。

**ご来院いただくこと**  
・発熱外来は予約です。  
・医師の診察と判断した場合には、対面での診察や各種検査を行います。  
・診察時間により、待ち時間が発生します。  
・発熱外来を受診した方がすべてコロナの検査の対象となるわけではありません。  
・予約後に陽性があるなどの診療を要する場合があります。予めご了承ください。

高島市民病院の発熱外来

コロナ禍で、米価が下落。備蓄米追加意見を国に

問 12月市議会できなく、秋口からの接種に対応できるようにすべきでは。

答 市長

今議会で提案させていただくかどうかは、議会と相談させていただきま

問 コロナ禍で外食・宿泊業が大不況で国産米の在庫が増え、新米の概算米価が60kg600〜1000円下落している。国に備蓄米追加買上げなど米価安定化の働き

かけを。また市独自で下落対策ができないか。

答 市長

新型コロナウイルス感染症対策の市独自策第4弾で「高島がんばる事業者サポート給付金」を創設し、収入が減少した農家も含む事業所を支援します。全国市長会を通じ経営所得安定策など必要な措置を講じるよう求めています。

問 サポート給付金事業は、減収した400認定農家も対象にされているとのことだが、十分な周知はされているか。

答 市長

農業委員会やJA関係者に制度趣旨を説明し、周知しています。

その他の質問

○「効率第一の新自由主義」は、高島市民の命と健康を守り切ったか  
○介護施設・待機乳幼児・リゾートホテル等の検証と今後のまちづくり